

宙吊りの踵が降りる朝

作・高石紗和子

【登場人物】

ふうこ

りお

すず

ゆか

ちあき

講師／チーフ／コーチ／ママ

男性／店長／肉／先生

女性

1～8

*…アナウンスなど録音の音声

※1～8は個人としての区別のない存在として扱われることが望ましい。

【舞台（一例）】

舞台中央に横長の直方体。この直方体は場面に応じて様々な物を表す。例えば、椅子・寝台・勘定台・秤・壁・棺など。舞台の両端には簡素な椅子がずらりと壁沿いに並べられている。

I 朝

暗闇のなか、電車の緩やかな走行音が聞えている。

ふうこ 耳を塞ぐように、瞼をそつと閉じる。それでわたしは、目の前の喧しい光景から——四月の、朝の、よく揺れる、混雑した、不快な、通勤快速の車内から——少しだけ、遠ざかることができる。暗闇が、視界における静けさを保っている。まだ開いたままの耳の方から、女子高生たちの眩しい笑い声や、倦み疲れた中年男性の薄暗い吐息が差し入ってくるので、イヤホンをして、閉じる。目も耳もここから離れて、それでもわたしは、自分が今ここにいるということ／このからだだが、どこかへと運ばれている／運ばれていく途中であるということ、から、逃れることはできないらしい。走る電車は絶え間なく揺れ続け、ぐいぐいとわたしのからだを四方へと引つ張る。右へ。左へ。前へ。後ろへ。

ふうこの台詞のおわりにかけて、溶明。

女性 (背後からふうこの肩をぐいと引き) ねえ、

ふうこ と言って、今朝、

女性 ねえ、

ふうこ と言って、今朝、わたしの肩を引いたのは、

女性 ねえ、ふうこちゃんでしょう。

ふうこ と、最寄り駅のホームでわたしに声をかけたのは、りおちゃんのお母さん……

ふうこ、振り向いて、

女性 ねえ、ふうこちゃんでしょう。分かる？ わたし。

ふうこ え、あ、おひさしぶりです。

女性 (ふうこの服装を見て) 会社？

ふうこ あ、はい。今、研修中で。

女性 あらー、就職おめでどう。はやいわねえ、立派になって……

ふうこ いやいや……

女性 ほんと、はやいわねえ……

ふうこ りおちゃんのお母さんは、どう思っているんだろう。

女性 ほんと、はやいわねえ……

ふうこ こうして、りおちゃんの同級生だった、わたしに会うこと、

女性 ほんと、はやいわねえ……

ふうこ こうして、大人に、りおちゃんを置いて、大人に、なってしまった、わたしに会う

こと、

女性 ほんと、はやいわねえ……

ふうこ りおちゃんのお母さんは、どう思っているんだろう……。

女性 あ、ごめんなさいね、急に声かけちゃって。

ふうこ いえ……、

女性 じゃ、研修がんばってね。

ふうこ はい、ありがとうございます。

りおの母親が去っていく。

電車が駅に到着し、大きく揺れる。ふうこのからだはぐらりとよろめいて、

ふうこ

はあ……。

投げ出されるように電車を降りて、研修会場に向かうふうこ。

研修会場では、講師が、人の出入りを監視するようにドアの前に立ちほだかり、

新入社員ひとりひとりの挨拶に目を光らせている。

何人かの者たちは先に入室の許可をもらったのだろう、

彼らは静かに、硬直したような姿勢で、

舞台両端に並べられた椅子、各々の座席についている。

会場に入って行く人々は、声を張り上げて挨拶をしている……

1 おはようございます！

講師 声が小さい！ もつと部屋の端から端まで聞こえる声量で！

1 おはようございます！！

講師 はい、おはようございます。

2 (頭を下げながら)おはようございます！！

講師 語先後礼！ 言い終わるまで頭は下げない！

2 失礼致しました。(やりなおして)おはようございます！！

講師 はい、おはようございます。

ふうこ おはようございます。

講師 聞こえない！ 腹から声出していますか？

ふうこ おはようございます！

講師 まだ小さい！

ふうこ おはようございます！

講師 一呼吸おいて、ちゃんと息吸って！

ふうこ おはようございます！！

講師 それが全力か！！

ふうこ おはようございます！！！！

講師 (時計を見て)いいことにします。今日のところは。

ふうこ はい。申し訳ありません。

頭を下げ、ようやくふうこは席に座らせてもらえる。

3 講師 (時計を見ながら)はい、始業時間過ぎてますが、皆さん何もしないんですか？

3 (慌てて)起立！

講師 言われる前にやる！

全員 はい！

新入社員達が一斉に起立する。

全員が脚をぴたりと揃え、下腹部の辺りで両手を組む、同一の姿勢をとっている。

3 おはようございます！

全員 おはようございます！

3 四月五日、金曜日です！ 朝礼始めます！ 経営理念の唱和を行ないます！ 「私
たちは、人と社会をつなぎ、必要とされる存在になろう」！

全員 「私たちは、人と社会をつなぎ、必要とされる存在になろう」！！

3 着席！

新入社員達が一斉に着席する。

ふうこが立ち上がり、舞台中央、皆の前に出てきて、

ふうこ 本日のスピーチを担当します。水野です。皆さん、おはようございます。

全員 おはようございます！

ふうこ わたしは、研修開始日からずっと、自らの課題として、大きな声で挨拶するという
ことを意識しているのですが、

講師が4に耳打ちをする。

ふうこ 本日も、入室時の挨拶で声が小さいというご指摘を頂いてしまいました。わたしは
気が弱く、声も小さくて……

4 (挙手し)あの、声が小さくて聞こえないので、もっと大きな声でお願いします！
ふうこ 失礼致しました。……(叫んで)わたしは！ 気が弱く！ 声も小さくて！ こう
した自分の内面は！ 改善していかなければならないものだ！ 日々感じております！
今後は甘えを捨て！ 学生気分を捨て！ 当事者意識を持ち！ 会社の一員として胸を張
って業務に取り組んでいけるよう！ 努力してまいります！ 本日も一日！ よろしくお
願います！

全員 よろしく願います！

ふうこが自分の席に戻る。

講師 はい。えー、研修五日目です。休日を抜かせば、全部で十日間の新人研修を予定し
ておりますので、ちょうど折り返し地点、といった感じでしょうか。疲れなど出てくる時
期かとも思いますが、しっかりと集中して講義に臨んでいただきたいと思います。よろし
いですか？

全員 はい！

ふうこ ……と、いう、

講師 よろしいですか？

全員 はい！

ふうこ と、いうこれを、わたしたちは今、毎日、毎朝、やっています。

講師 よろしいですか？

全員 はい！

ふうこ というこれを、毎日、毎朝、わけも分からないまま……、こういうのって、なんか、
なんか、なあ。

講師 よろしいですか？

全員 はい！

ふうこ　なんか、思い出すなあ。あの頃、あの体育室、あの、新体操部、を。それって、なんだか、なんだか……

講師　よろしいですか？

ふうこ　はい！

講師　では、朝礼後はビジネスコミュニケーションについての講義から始めます。わたくしからお伝えすることは以上です。

全員　はい！

5　起立！

全員　本日も一日、よろしくお願いします！

講師　声が小さい！　姿勢も悪い！

全員　はい！

講師　頭のとっぺんから糸で吊られているような感覚で！　背筋伸ばして、胸張って！

まっすぐ前見て！　腹から声出して！

全員　はい！

講師　ルルベ！

全員　はい！

講師　パッセ！

全員　はい！

講師　ターン！

全員　はい！

講師　ターン！

全員　はい！

くるくると回り続ける彼女らの背後、すずが歩いてきて、

すず　集合——！！

全員　はい！

II 体育室

——あの頃の体育室。

名前のない女たち、さきほどまでの新入社員たちは、

シームレスに、新体操部の部員たちへと変化する。

部員たちは駆け足で、部長、すずの元へ、

全員　おねがいます！

弧状に立ち並んで、演技の駄目出しを聞く姿勢をとる。

すず　はい。えー、まず全体に対して言えることは、爪先までの意識が全然できてない、汚いってこと、あと列、ぐちゃぐちゃってこと、あと、表情、死んでるってことです。

全員　はい！

すず てか、この時期になってこの状態ってなんなの？ 言っとくけど、文化祭、本番まで一ヶ月切ってるよ？ やばいってこと分かってる？ 分かってますか？

全員 はい！

すず 分かってるならちゃんとやってくださいーい。はい。あと、水野！

ふうこ はい！

すず 水野さあ、なんか最初から最後まで、ずっとタイミング遅れてるんだけど。あのね、

すごい目立つ。なんかさあ、もしかして、前の人見て踊ってない？ 見てやってたら絶対

遅れるから。一人でも遅れてる人いるとすごい目立つから。

ふうこ はい！ すみません！

すず ……って感じです。もう一回頭から、カウントで通しまーす。

全員 はい！

部員たちは駆け足で、演技の最初のポーズについて、

6 おねがいます！ 5・6・7・8！

踊りはじめる。少女たちの号令の声が絶え間なく続く。

すずは腕組みをして立ち、部員たちの演技に目を光らせている。

全員 1・2・3！ 5・6・7・8！

すず 声小さい！

全員 はい！

すず 笑顔！

全員 はい！

彼女らの踊り。激しい運動の息苦しい反復。汗と息と声。

ふうこは、皆の躍動・呼吸・号令に引き摺られるように体を動かかして、

ふうこ 踊る。踊る。踊る。曲をカウントで刻んで、定められた振り付けの点と点を追うよ

うに、くるくると体を動かす、わたしたち、パラパラ漫画のキャラクターみたいだなあ。

わたしは、いつも、みんなから少し、遅れてしまう。周りを見ながら踊っているわけでは

ないのに、わたしは、いつも遅れてしまう／しまっている、らしい。自分では、よく分か

らないんだよね……

すず 水野！ 遅れてる！

ふうこ はい！

全員 1・2・3！ 5・6・7・8！

ふうこ 自分では、よく分かんないんだけど、わたしはどうやら、遅れているらしいんだ。

いつも……

全員 1・2・3！ 5・6・7・8！ 1・2・3！ 5・6・7・8……

部員たちはひとりひとり、踊るのをやめていく。

号令が消えゆき、声に代わって同じテンポの手拍子がはじまる。

少女たちは全員、基礎練習^{アップ}をするため、舞台端、体育室の壁際に並ぶ。

彼女らは自分の番を待ちながら、手拍子をしつつ、おしゃべりをしている。

1 てかハーフシューズ最近全然洗ってなくてさ、
2 あ、あたしも。洗う暇くない？

1 ロッカーほんと臭くて。教科書とかにも臭い染みついている、たぶん。
2 あー、あたし脱臭炭入れてるよ。

会話は唐突に切れて、二人はルルベ

(踵を高く、脚の裏をしっかりと伸ばした爪先立ちの姿勢)で、

手拍子に合わせて歩き出し、体育室を横切るように、

前バランス・横バランス・後ろバランス、左右の脚上げをはじめる。

3 今日さースパッツ四分丈なんだよね、ださくない？

4 えー、そんなことないよー。

3 いや、四分はね、ださい……。

前の二人の後を追うように基礎練習をはじめる。

5 ゆかさー、また胸大きくなつたでしょ。

ゆか えー、うん、ちよつと。

5 ゆかが大ジャンプとか飛んできると、躍動感すごいよ、胸の……

ゆか えー、やめてよー。

前の二人の後を追うように基礎練習をはじめる。

体育室の反対側に到達した者は、壁沿いに並んで、手拍子に加わる。

新体操部の基礎練習は空間を縦に長く使うので、

動いている人々／止まっている人々が、体育室に混在することになる。

6 ちあき先輩つてさー、やつぱ拒食症だったらしいよね。

7 ああ……

6 ダイエットがんばりすぎてさ。なんか去年あつたじゃん、急にダイエットについて

注意受けたこと、うちらー。

7 あつたねー、そういう。

6・7は声を潜めるようにして会話をしている。

そんな二人に、さすが厳しいまなざしを向けている。

8 部長ー。コーチ今日、四時からだつて。

8 部長ー。(6・7から視線を外し)うん。てか、部長つて呼ぶのやめてよ。

8 だつて部長じゃん。

ひとり、黙々と基礎練習に参加している、ふうこ。

1 あたしも消臭力入れてんだけどさあ、負けている、消臭力が、ハーフシューズ臭に。

2 新体操部のロッカー臭くね、とか影で言われてそうだよね、まじ。

1 それ何も言い返せねーな。

手拍子の音。高々と上がる少女たちのふくらはぎ。

床を穿つように、強く踏みめられる爪先。

上から糸で吊られているかのように、降りることのない踵。

3 二分丈がベストだと思っただよ。一分までいくと、今度は短すぎるじゃん？
4 あー、でも、四分なら、毛の処理とか心配ないじゃん。

3 確かに。

4 てか最近太ったし、一分とかマジ履けねーわ。

体育室を行き交い続ける少女たちと、彼女らの会話。

5 新体操もさー、柔道とかみたいに階級あればいいのにねー。Eカップ以上、Eカッ
プ以下みたいなさー。

ゆか やだよ。はずかしいよ。

・・・

6 なんかほんとさ、腕とか脚とか、かわいそうなくらい痩せちゃったよね。

7 うん。

6 まー痩せたいけどね、うちらも。

7 それなー。

・・・

2 最近さー、レオタード着たままトイレ行く方法編み出したんだよね。

1 え、何それ。

2 なんかこうやって、ずらしてすんの。大だと無理だけど。

1 やば、女子校だからってほんと、女子として終わってるよ、あんた。